

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

3月のイベント

状況により変更・中止する場合は
ホームページやtwitterで随時お知らせします。

●しょうちゃんと遊びま専科

「くるみでカメのマスコットを作ろう！」

日時：3月9日（土）14:00～

場所：2階 企画研修室

内容：当館顧問しょうちゃんと一緒に工作を楽しみます。

定員：5組

対象：どなたでも ※小3までは保護者同伴

受付：2月2日（金）～※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★歴史民俗資料館のイベント

第52回企画展「いちかいの埋蔵文化財」

期間：5月12日（日）まで ※休館日は図書館に同じ

内容：資料館所蔵の考古学遺物を展示し、古代の文化に触れます。

【お問合せ：生涯学習課（中央公民館）☎68-0020】

★ホームページをご活用ください★

市貝図書館のホームページで便利な機能をご利用いただけます。スマートフォン・パソコンなどでぜひお試しください。

◆資料検索

◆予約

※取り置き期間は1週間です。

◆貸出中の資料の延長

※予約がない資料で1回のみ

◆パスワード変更

※初期パスワードが不明の場合は
カウンターで再発行できます。

◆メールアドレス変更

…など

ご不明な点はお気軽にスタッフまでお声がけください。

◆Web利用者カード



X（旧ツイッター）
でも 情報配信中！



市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun_ichikai

★開館時間 9:30～19:00★



★忘れ物・落とし物を

展示します★

3月1日～3月10日の期間、
図書館入口に忘れ物・落とし物を
展示します。お心当たりのあ
る方はスタッフまでお声がけく
ださい。

尚、展示後は処分させていた
だきますのでご了承ください。



★本屋大賞ノミネート作展示中★

1階 受賞作コーナーで本屋大賞のノミネート作
を展示しています。

全国の書店員による投票で決まる本屋大賞。
どの作品が大賞となるか、予想しながら読んでみて
はいかがでしょうか。

本屋大賞の発表は4月10日です。

図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■…休館日

★しょうちゃんコレクションが 新しくなりました★

市貝図書館には、何でもコレクターの当館顧問「しょうちゃん」の専用ショーケースがあります。今回のテーマは「いろいろなカードを集めて楽しむ展示会」です。たくさんのトレーディングカードを紹介しています。ご来館の際には、ぜひこちらもお注目ください。



★古本リサイクル市を開催しました★

2月24日・25日、古本リサイクル市（雑誌を除く）を開催しました。図書館で除籍となった本・寄贈本で受入れしなかった資料・ご家庭の不用本など2,289点を希望者に配布しました。

次年度も開催予定ですのでぜひご参加ください。



今月のスタッフおすすめ本

一般書

「体のトリセツ」

渡邊 眞理 // 執筆者代表
(法研)

コロナ禍では、私達の生活が大きく変わり、感染症の恐ろしさと共に過ごした辛い日々を思い出します。新型コロナウイルスは主に飛沫・接触感染のため、どんな対策が必要か。また、不意にやってくる私たちの体の不調についても、やさしく丁寧に解説してくれている本のご紹介です。

3月に入り、季節は冬から春に移り変わり、体にとってはいわゆる季節の変わり目といって、冬とは違う不調が現れる時期と言われる。3人に1人が、花粉症・肌のトラブルを体感していると聞きます。人それぞれ、不調が起こったとき、体内で何が起きているの？そしてそんなとき、どのように対応したらいいの？身近な不調から、メンタルの不調・感染症・がん・認知症…これらは、どのように生じ、どのように対応すればよいか教えてくれています。この本を読み、少しでも心と体が癒されたら幸いです。

(スタッフ：よもぎ団子)

児童書（低学年向け）

「海辺の村のパン屋」

ポーラ・ホワイト // 著 いけだ さちこ // 訳
(BL出版)

ぼくの村では、漁師や船大工などみんなが海を中心に生活している。でも、ぼくの父さんはパン屋だ。

どうして、と思ひ悩む「ぼく」は、父さんの話を聞くことで海で生きる村の人と父さんの仕事と同じく大切なすばらしいものだと感じていきます。

みなさんも「ぼく」と一緒に、仕事について色々考えてみてください。(スタッフ：ぴっぴ日和)

YA（中高生向け）

「きみを変える50の名言 2期」

佐久間 博 // 文
(汐文社)

「悩む理由がわかるってことは、もう答えがでていってこと。」クイズ番組でおなじみのカズレーザさんの言葉です。50人の名言を著者の解釈を交えて紹介しています。卒業・進学・進級など、環境が新しくなる季節に不安な人もいます。この本で、何かヒントになる言葉を見つけてほしいと思います。

(スタッフ：ちょこわんこ)



昨年暮れに「もうすぐ正月だね。また一つ齢をとってしまうね」とスタッフと話していたら、いつの間にか3月です。月日の経つのは早いものです。この時期になると市貝町では毎年「梅まつり」が開催されます。梅の花は春の訪れをいちばん早く知らせることから「春告げ草」とも言われ古くから人々に愛されておりますが、花言葉は「忍耐」です。冷たい北風の中を、繰り返す寒さに耐えて凛として咲く姿は、まさに花言葉通りです。そしてやがてたわわな実を結びます。「梅一輪、一輪ほどの温かさ」という句には、春を待ちわびる人々の思いが込められています。市貝町村上にある観音山梅の里協議会は平成2年に創設され、個性豊かなふるさとを創ろうと村上と駒込という自治会で組織し現在に至っています。かつてこの周辺は葉タバコの産地として耕作していました。その後休耕地となり、その土地4haに5種類の梅の木が約4千本植えられ、来る人の目を楽しませてくれています。近くにあるカタクリの群生地を登っていくと県指定の観音堂があり、お寺の隅には藪椿などの姿も見られます。これからの時期にはおすすめですよ。ぜひ一度訪れてみてください。